

2024年度各組教化事業報告一覧（組門徒会研修）

NO	組	実施日時	会場	講師（敬称略）	案内方法	日程	参加人数	目的・工夫した点・留意点など
1	宇佐	2024年9月9日（月）11：00～16：00	勝福寺	信國 真一 (九州教務所長)	葉書	11：00～12：00 通常門徒会 13：00～14：00 門徒会研修（法話） 14：00～16：00 九州教務所長巡回	42名 (会員30名・住職/寺族5名・スタッフ7名)	昨年度、午後1時からの定期門徒会総会開催であったが、教務所長巡回が終了したのが午後5時を過ぎて、参加者の疲労が大きかったので、本年度は、定期門徒会総会を午前中に開催し、門徒会研修および九州教務所長巡回を午後に開催し、午後4時までに終了することをめざしました。
		2025年2月12日（水）13：30～16：00	四日市別院	寺本 温 (四日市別院輪番)	葉書	13：30～14：00 開会行事 14：00～15：30 講義 15：30～15：50 閉会行事	28名 (会員18名・住職/寺族3名・スタッフ7名)	『真宗の教えと宗門の歩み』をテキストとして、昨年度に続き、真宗についての基礎の系統的学び、門徒会員としての組寺院および組における役割についての理解を深めるとともに、本廟奉仕を展望した系統的な研修を展開した。
		2025年5月7日（水）13：30～16：00	四日市別院	寺本 温 (四日市別院輪番)	葉書	13：30～14：00 開会行事 14：00～15：30 講義 15：30～15：50 閉会行事		
2	豊前中津	2024年9月10日（火）13：30～16：30	明照寺	信國 真一 (九州教務所長)	組内寺院、門徒会員に案内状を郵送	13：30 豊前中津組門徒会通常総会 15：00 法話 15：30 教務所長巡回	49名 (会員28名・寺族17名・スタッフ6名)	2023年度門徒会通常総会の参加者が少なかったので、今年度は教務所長巡回と同日開催とし、できるだけ多くの門徒会員の方に参加していただきたいと総会、研修会、教務所長巡回を同日開催としました。今年度は、門徒会、寺族の方にご参加していただけました。 また、所長巡回において大谷派ならびに九州教区の現状を門徒会の方に発信することができました。1日で開催することで、多くの方が参加していただけましたが、長時間の日程となるので、時間配分については、今後検討する必要があると考えます。
3	京都	①2024年9月27日（金） ②2025年4月5日（土）	善徳寺	①瓜生 崇 (京都教区玄照寺) ②青木 玲 (九州大谷短期大学准教授)	ハガキ	13：30～16：00	①合計82名 (会員70名/寺族12名) ②合計72名 (会員62名/寺族10名)	会長・役員が是非聞いてみたいという講師に出講いただき、参加者も多かった。
4	田川	2024年8月4日（日）15：00～16：30	香春町町民センター	井上 道昭 (組長)	全会員に封書にて	開会・勤行・門徒会長、組長挨拶・議長選出・議事・教区関係報告・組長法話・閉会	32名 (会員24名・寺族3名・スタッフ5名)	3月に新たに選定された門徒会員としては初めての会合であったが、コロナ前と比較して参加者が少なくなった気がする。対面での会合が再開の兆しが見えるものの、感染を警戒してか人の集まる場所に出ない傾向もあるのかもしれない。 後の要因としては、会員の高齢化が顕著であること。75歳以上の会員が66名中50名に及ぶ。各寺院にはこれまでの会員からの若返りも声掛けてみましたか、責任役員クラスの方々を選出すとなるとどうしても高齢になりがちなところではあります。 しかし、40～60代の方となるとこの時代は、働いておられる方が多いため、各寺院の役員をお願いしたとしても、断られることが多い現状を変えていくことは難しい。
5	大分東	2024年9月11日（水）14：30～16：00	ホルトホール大分	信國 真一 (九州教務所長)	ハガキ・LINE	開会行事・組及び組門徒会事業報告決算報告・事業計画・予算案審議・法話	30～40名	前年度は、組会も合同で行っていたが、長時間にわたるので、今年度はそれぞれ単独で行った。育成員の参加が少なかった。今後も、時間配分と日時の工夫を考えていきたい。
		2025年4月7日（月）13：30～16：00	佐伯地区公民館	牛島 達郎 (教区駐在教導)	ハガキ・LINE	13：30勤行・開会行事・法話①②・質疑応答・閉会行事	48名 (会員33名・寺族8名・スタッフ7名)	門徒会員の負担軽減・各ブロックをなるべく巡回する。
6	大分別府	2025年4月1日（火）～2日（水）11：30～翌15：30	真宗本廟	青木 玲（九州大谷短期大学准教授） ネフセタイ	個別に郵送で案内	別紙	合計27名 (会員10名・寺族4名・スタッフ3名)	・組門徒会員任期中に本山にお参りすることを目的とする。 ・組門徒会員以外にも呼びかけて参加していただく。 ・音楽法要は、なかなかお参りするチャンスがないので、今回参拝できて大いに感動した。
7	奥豊後	2024年10月22日（火）14：00～16：00	光西寺	手嶋 晃史 (大分東組淨龍寺)	各個人にハガキで案内		合計48名 (会員31名/スタッフ17名)	研修会に先立ち、門徒会員にその役割と責任について組長から説明。その運営に積極的に関与することを促した。また、門徒の先頭に立ち、聞法の場に身を置くことを促した。 今後3年間（門徒会員の任期）継続して「真宗の教えと宗門の歩み」をテキストとして系統的に手嶋先生から講義を受けることとした。 本年度の第2回目の研修会を3/18満徳寺にて実施した。講師は手嶋晃史師。
8	日田玖珠	2025年5月7日（水）14：00～16：30	西光寺	牛島 達郎 (教区駐在教導)	往復はがきによる案内	①勤行②あいさつ③研修会④恩徳讚齊唱⑤事務連絡	合計41名 (会員34名・寺族7名)	組門徒会員の新任期にあたり、組門徒会員の「使命・役割・願い」について、再確認となるような講義内容を講師にお願いした。 また、組門徒会員へ仏事サポートセンター福岡の周知を図るため、担当主事からの説明を予定している。
9	福岡	2025年5月21日（水）13：30～16：00	クレカ若松	保々 真量 (熊本東組光行寺)	案内状を各寺、門徒会員に配布してもらう	13：30開式/13：45講義①/14：40講義②/16：00閉式・散会		先達の方々の願いを改めて考え方受け止めさせていただくご縁になればと思っております。 福岡組になって、なかなか皆が集まるご縁がないので、一年に一回は研修を通じて互いの悩みや情報交換などの場になればと思っております。
10	久留米三井	毎月第2水曜日	九州教務所	渋谷 行成 (教区駐在教導)	ハガキ	14：00～16：00	合計16名	(久留米三井組門徒会員定例学習会) ・2024年7・8月・9月・10月・11月・12月実施 会費1人6,000円（年間受講料） テキスト 同朋新聞より ・久留米三井門徒会員に広く参加すべく通知する。 ・会場が大谷会館なので、三井東ブロック会員には遠方になるデメリットあり。寺回しも考慮したい。
11	三井西	2025年5月21日（水）～23日（金）	同朋会館・比叡山・六角堂等	同朋会館教導	ハガキ申込	5/7 上山説明会・学習会 5/21 六角堂、青蓮院、比叡山、雄琴 5/22～23 同朋会館、真宗本廟	合計20名 (会員18名/寺族2名/スタッフ2名)	組門徒会員による話し合い、座談を行う中で研修を企画した。3ヵ年の最終年度ということで、京都の宗祖御旧跡を周り、本山の奉仕団、帰敬式（未実施者）を行い、真宗門徒としての自覚と実践につなげる計画。
12	浮羽	①2024年11月14日（木）13：30～15：00 ②2024年11月29日（金）13：30～15：00 ③2025年5月19日（月）13：30～15：00	①雲遊寺 ②佛行寺 ③圓應寺	①洪谷 行成（駐在教導） ②佐藤 智水（光福寺） ③佐藤 智水（光福寺）	案内文を郵送	開会の辞/真宗宗歌/挨拶（組長・組門徒会長）/法話/休憩/質疑応答/恩徳讚齊唱/閉会の辞（組門徒会副会長）	①合計31名 (会員20名/寺族8名/スタッフ3名) ②合計38名 (会員25名/寺族10名/スタッフ3名) ③合計40名 (会員27名/寺族10名/スタッフ3名)	(1)『真宗の教えと宗門の歩み』およびオリジナルテキストを使用しながら、本山や各教区・寺院等の組織および真宗の教義・親鸞聖人の行実・儀式作法などを、門徒会員の在任期間の3年間で、体系的・総合的に研修し、本山上山研修に向けての準備を行う。 (2)オリジナルの資料を準備して、初心者の会員の方にも興味をもっていただけるように、わかりやすく伝える点に留意した。
13	八女	①2024年9月10日（火） ②2025年2月18日（火） ③2025年5月27日（火） 10：00～15：00	①淨德寺 ②極圓寺 ③光善寺	島村 宣澄 (淨慈寺) 寺本 温 (長崎組眞蓮寺・四日市別院輪番)	チラシ	10：00講義/12：00星食/13：00座談/14：00講義	合計86名 (会員58名/寺族28名)	・門徒会の使命と役割について ・テキスト『宗祖親鸞聖人』
14	三潴	①2024年11月14日（木）14：30～16：30 ②2025年3月17日（月）14：30～16：30 ③2025年5月12日（月）14：30～16：30	①則善寺 ②淨願寺 ③明樂寺	調 晋一（覺了寺） 大城 史雄（則善寺）	葉書を郵送	14：30 開会・勤行 14：45 法話 15：30 班別座談 16：30 閉会	合計70名 (会員50名/寺族10名/スタッフ10名)	「お内仏」について法話をいただいた。今年度から座談をするようにした。1回目が終わった後、組教化委員会で門徒会員に感想を聞いたところ、基本的な用語の説明をして欲しいとの要望があり、2回目はそうした。
15	山門西	2024年10月18日（金）13：30～16：00	崇樹寺	塩塚 力也（崇樹寺） 菊池 修（正應寺）	ハガキで発送	勤行・挨拶・お内仏の歴史・休憩・お内仏の莊厳・作法	合計27名 (会員24名/寺族1名/スタッフ2名)	・真宗門徒として、お内仏を中心とする生活をしていただく為に、「お内仏の歴史」「莊嚴・作法」等を正しく行っているか再確認する。 ・プロジェクトと一緒にお内仏のお莊厳の冊子を使って、平常時・年忌法要・報恩講のお莊厳の違いを詳しく説明した。
16	山門東	①2024年11月26日（火） ②2025年3月10日（月）	①正覚寺 ②満福寺	武井 弥弘 (九州大谷短期大学副学長)	各寺住職より門徒会員へ案内状手交	10：00 開会 10：30 法話 11：30 昼食 12：30 座談会 13：30 座談発表 14：00 法話 15：00 閉会	合計51名 (会員32名/寺族19名)	当組は例年、3月と11月に門徒会研修を実施しており、今年度も2回実施した。役員会において、本期の門徒会研修は、半日研修と1日研修を2回行う事が確認されている。1日研修は、コロナ禍以降久しぶりの実施である。 研修テーマとしては「過疎化・高齢化が急速に進行する中で私たち（寺族・門徒）はどうあるべきか」というテーマのもと、寺族門徒共に聴聞した。 久しぶりの座談会ということもあり、いささか不安もあったが、テーマが実存的な課題という事もあり、それぞれのおかれた境遇の中で活発な意見交換がなされていた。 現在門徒会研修の案内方法は、住職より案内状を会員へ手交しているが、例えば教区主催の教化事業を門徒会員へ気軽に伝えられるような仕組み作り（LINEグループ）を作って、いろいろな研修会への参加の奨励を行っていきた。
17	大牟田三池	①2024年10月2日（水）14：00～16：00 ②2024年11月20日（水）14：00～16：00	①淨泉寺 ②安照寺	①尾崎 正信（願行寺） 渡辺 良樹（光圓寺法務員） 古賀 隆明（萬通寺） ②井田 謙（福因寺） 三池 直（明正寺） 吉弘 統幸（願敬寺）	案内文書を発送	14：00開会-14：20感話・法話-15：00休憩-15：20感話・法話-15：40質疑・アンケート記入-16：00閉会・恩徳讃	①合計55名 (会員34名/寺族21名) ②合計49名 (会員33名/寺族16名)	(目的) 私たち組門徒会は、大牟田三池組に所属する門徒の一員として、真宗の教えに尋ねながら真宗門徒の生活を送りたいと願い、感話・法話会を企画いたしました。 この大牟田三池組内には、どのような寺院があり、育成員がおられ、仏事を語っておられるのか。その組寺院の育成員の方々に、「真宗門徒の生活」をテーマに、感話・法話をいただいて、育成員さんたちと私たちが共に教えに出遇い、人に出遇い、共創を深めていきたいと思います。 (工夫した点) 講師依頼につきましては、御住職に偏ることがないように、若い若院さんにもお願いをしています。

18	唐津	2024年11月15日（金）13：30～16：00	本勝寺	甲斐 恭平 (駐在教導)	はがき	1開会/2真宗宗歌齊唱/3勲行（正信偈同朋奉讃式）/4門徒会長挨拶/5組長挨拶/6法話/7質疑応答/8恩徳謹齊唱/9閉会	合計31名 (会員21名/寺族10名)	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年6月25日より甲斐恭平師（駐在教導）に講師をお願いしている。前回は「九州教区組門徒会研修計画」に沿って「門徒会員の使命と役割」と題してお話をいただいた。今回からは、現代社会に生きる私たち一人ひとりの生活を真宗の教えに尋ねていくために「生活を問法の場に一真宗門徒として」をテーマにお話をいただいた。 ・2024年度の唐津組門徒会の歩みは <ul style="list-style-type: none"> ①2024年9月17日（火）第一回門徒会並びに所長巡回 御法話 信國 真一 師（九州教務所長） ②2024年11月15日（金）第二回門徒会研修会 御法話 甲斐 恭平 師（駐在教導） ③2025年6月 第3回門徒会研修会予定
19	長崎	2024年8月29日（木）16：00～17：00	出島メッセ長崎	田中 頤昭 (西教寺)	書面	定期組門徒会終了後	合計67名 (会員57名/寺族7名/スタッフ3名)	8月9日「原爆80年非核非戦法要」及び9月7日「非核非戦のつどい」に向けて、真宗門徒とは何を問い合わせ、何を大切にすることでの問法の姿勢について提言的法話であった。
20	熊本中	2024年8月19日（月）13：00～16：30	東本願寺熊本会館	信國 真一 (九州教務所長)	寺院及び会員宛 郵送・LINE	研修及び総会（前年度報告・新年度計画の最終了承含む）	合計40名 (会員30名/寺族10名/スタッフ4名)	(他組の取り組み等も参考に) 今年度より、通常組会開催日に巡回予定の教務所長乃至次長若しくは担当駐在教導を講師とし、テーマ「現代社会における真宗門徒の使命」、テキスト『真宗の教えと宗門の歩み』の内容にて研修した。
21	熊本北	2025年4月25日（金）13：30～16：00	往相寺	八女光善寺念佛一座	案内状配布	14：00開会/14：30音楽紙芝居/16：00閉会		<ul style="list-style-type: none"> ・今回の改選でほとんどが「新人」として門徒会会員になった方で、旧組との顔合わせも充分でなく、お互いの交流の意味もこめて、先ずは座を共にすることから始める。今後の組門徒会の研修、交流の「第二歩」（2024.7.20門徒会懇親の集い）とした。 ・各寺・各人が、宗憲に決められている門徒会活動であるという認識が不十分であると思われる。ただ、教団の行政組織を荷う部門であることが、「障害」となっている感がある。
22	熊本西	①2024年10月24日（木）14：00～16：20 ②2025年2月17日（金）14：00～16：20	熊本教務支所	菊池 政和 (熊本東組江善寺)	郵送	講義一質疑一まとめの講義	①合計26名 (会員18名/寺族8名) ②合計31名 (会員20名/寺族11名)	テキスト『真宗の教えと宗門の歩み』を中心に講義を受け、門徒としての歩みを学んだ。
23	熊本南	2024年9月28日（土）13：00～15：00	桜十字ホール八代	竹下 秀覚 (正念寺)	ハガキ	開会/講義	合計36名 (会員27名/寺族9名)	
24	熊本東	①2024年11月12日（火） ②2025年2月21日（金） 13：30～16：00	①真成寺 ②了廣寺	草野 信之 (久留米三井組真教寺)	①各寺、各会員 ～郵送 ②各寺に郵送 し、参加者募集	13：30開会/14：00～15：30法話/15：40～ 16：00①総会②質疑/16：00閉会		任期交代し、初めての研修会ということで、第1回研修会テーマを「組門徒会の役割と使命について」とし、草野先生にお話をいただいた。 ちなみに、第2回のテーマは「宗祖親鸞聖人のご生涯」。第1回研修会は総会を兼ねているので、会員全員に案内を直接郵送した。
25	鹿児島	2025年2月27日（木）14：30～16：00	鹿児島別院大谷会館 研修室	長谷山 法雄 (鹿児島別院輪番)	鹿児島組内各寺 郵送	14：30開会式/14：35法話「人として生まれた ゆえに その意味が問われている」/15：35質 疑応答/16：00閉会式	合計38名 (会員26名/寺族7名/スタッフ5名)	目的：開思が基本と捉えなおし、聞く思う姿勢を重要視した。 工夫した点：鹿児島県全体と広域であるためzoomでも参加できるようにした。 留意点：慶讃法要を視野に入れ、鹿児島別院との共同教化に留意した。
26	宮崎	実施なし						

※各組より提出いただいたものをベースに作成しています。

2024年度各組教化事業報告一覧（女性聞法会）

NO	組	名称	新規・継続	趣旨・テーマ	日時・期間	会場	対象	対象人数	講師	テキスト	内容（詳細）	予算
1	宇佐	宇佐組女性聞法会	継続	九州教区教化テーマ「生活を聞法の場に一真宗門徒として」 宇佐組研修テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」	2024年11月7日（木）13：30～16：00	四日市別院	宇佐組女性門徒の会会員・坊守	44人（宇佐組役員含む）	江本 常照 (豊前中津組長仁寺)	講師作成資料	宇佐組女性門徒の会総会に統いて、江本常照師による、講題「あなたにかけられている願いを尋ねていこう」の講義を聽講。最後徳臺寺坊守此松清美師により、仏教讃歌の練習を行った。 昨年度承認された宇佐組女性門徒の会規約に則り、年度初めに総会を開催し、前年度の事業報告、会計報告を行う。また、研修は講義だけではなく、幅広い研修の機会を持つという目標のもとに、仏教讃歌の練習を行う時間を設けた。 なお、講師の選定については女性門徒の会の要望を活かす方向で行った。	190,000円 (3回分)
		宇佐組女性聞法会	継続	九州教区教化テーマ「生活を聞法の場に一真宗門徒として」 宇佐組研修テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」	2025年3月12日（水）13：30～16：00	四日市別院	宇佐組女性門徒の会会員・坊守	63人（宇佐組役員含む）	野本 恵子 (浄土真宗本願寺派覚正寺坊守)	講師作成資料	野本恵子師による演題「南無阿弥陀仏に生かさる」の講話に続き、講師の主宰するコーラスグループ「ピクルス」によるコーラスの鑑賞を行う。コーラス鑑賞では、参加者の参加を図る場面が多く、能動的な取り組みの研修会であった。	190,000円 (3回分)
		宇佐組女性聞法会	継続	九州教区教化テーマ「生活を聞法の場に一真宗門徒として」 宇佐組研修テーマ「南無阿弥陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」	2025年5月17日（水）13：30～16：00	四日市別院	宇佐組女性門徒の会会員・坊守		寺本 温 (四日市別院輪番)			190,000円 (3回分)
2	豊前中津	女性聞法会	継続	生活を聞法の場に 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう	2025年4月24日（木）13：30～16：00	四日市別院	女性門徒		寺本 温 (四日市別院輪番)			
3	京都	京都組女性門徒の会総括研修総会	継続	各小組の夏季研修会の総括として、小組役員・坊守が参加。今回は総会も開き、事業報告決算報告、事業計画予算案の承認もいただいた。	2024年10月16日（水）13：30～16：00	但信寺	各小組役員・坊守・担当委員・担当講師	45名	内田 祥司 (浄光寺)	なし	「一人の門徒の誕生 人と生まれたことの意味をたずねていこう」	50,000円
4	田川	田川組慶讃法要	継続	南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう	2024年10月19日（土）14：00～	添田町オータホール	田川組女性門徒の会会員、坊守他	251名	一楽 真 (大谷大学学長)	なし	前半は、住職・坊守で結成されたコーラスによる仏教讃歌6曲の合唱、また川崎亭好朝氏の落語、事前にご門徒から募った法語・短歌・俳句・川柳の紹介と続き、後半に大谷大学学長の一楽真師よりご講話をいただいた。 田川組主催の法要に、共催として女性門徒の会も参加した。	100,000円 (法要助成金として)
5	大分東	大分東組女性門徒の集い	継続	組内「女性門徒の会」の活性化と交流。聞法の姿勢を学ぶ。	2025年6月11日（水）14：00	光西寺	組内女性門徒の会、坊守・育成員		鈴木 君代			
6	大分別府	一期の会 聞法会		真宗の教えを聞き、念佛を相続する	①2024年10月10日（木）13：00～16：00 ②2025年5月19日（月）13：00～16：00	庄内公民館	坊守・前坊守・若坊守・女性門徒・希望者	70人	保々 真量 (熊本東組光行寺)	講師作成資料	年2回、継続して開催することにより、真宗の教えを聞くことの楽しみを感じられる法話をしていただいている。	100,000円
7	奥豊後	女性門徒の会聞法学習会・声明講習会		日常生活の中の真宗（仏法と聲明）	聞法学習会 2025年4月～5月に3回開催予定 声明講習会 2024年11月に各ブロックで実施	組内寺院	全女性門徒	約1,500人	豊岡 光闇 (大分東組淨慶寺) 相良 義和 (光西寺)	無	聞法学習会：日常生活中の課題を仏法に照らすことを取り組む。 声明講習会：正信偈（同朋奉讃）の基本的な声明を学習。自宅での実践に繋げる。	240,000円
8	日田玖珠	①花みづきの会第1回（日田・玖珠共同開催） ②花みづきの会第2回（日田・玖珠共同開催）		女性寺族と女性門徒が共同し連携して企画する聞法会	①2024年10月21日（月）14：00～16：00 ②2025年5月23日（金）14：00～16：00	①長善寺 ②廣圓寺	坊守・各寺院女性門徒の会会員	約30名	武井 弥弘 (九州大谷短期大学副学長)	未定	詳細内容については、坊守会と女性門徒の会との協議のうえで、講師と相談して方向決定のこと。	20,000円
9	福岡	博多ブロック女性門徒の会聞法会	継続	私たちは何故聞法しなければならないのか～何故争わなければならないのか～	2025年3月10日（月）	光應寺	坊守・女性門徒会	60名	藤浪 遊 (京都教区淨慶寺)	なし	坊守だからという事よりも、先ずは自らの姿を立ち止まり振り返させていただく縁となりました。 自らの姿が最も見えづらく、故に、自らの正義が実は執着から生まれる正義であることにななか気づけない。 だからこそ、互いの正義を振りかざし争いを起こしてしまう。そういう自分の姿を聞法を通して気づかせていただきくことが大切であるという事を改めて受け止めさせていただいた。	100,000円
10	久留米三井	坊守、女性門徒の会	継続	「真宗の教えに学ぶ」 (女性門徒の会) 「歎異抄に学ぶ」 (坊守会)	【女性門徒の会】 2024年7月29日（九州教務所）、10月31日（真教寺）、2025年3月12日（蓮休寺） 【坊守会】 2024年9月27日、11月22日、2025年1月31日、3月25日、5月30日		坊守、女性門徒	坊守18名 女性門徒参考約50名	青木 玲（九州大谷短期大学准教授） 島 充（山門西組仁業寺） 調 宏昌（三猪組榮久寺）	『真宗聖典』 『歎異抄』	御法話を聞き、日頃の生活に照らして念佛の教え、はたらきとは？自らにかけられた願いとは？問い合わせ、語り合う。研修会においては、雅楽を目の前で演奏していただいた。	412,000円
11	三井西	一人芝居「妙好人六連島のお軽さん」	新規	演劇と法話（大城清氏）を通して、一人の女性の獲信についての物語を鑑賞し、法話や解説もあり、寺の法座とは違った形の聞法の機会となることを願って。	2025年2月25日（火）13：00～15：00	光桂寺	坊守・女性門徒・門徒だけでも		九州大谷シアタープロジェクト、大城恵利子さん		九州大谷シアタープロジェクトによる演劇と法話	300,000円
12	浮羽	浮羽組 女性門徒研修会	継続	聞法をとおして、生きがいのある人生を尋ねる。	①11/6②11/8③4/15④5/23	①伯東寺 ②寶琳寺 ③常行寺 ④隆法寺	女性門徒および寺族	①40名 ②45名 ③100名 ④50名	①中西 無量（田川組西岸寺） ②島 充（山門西組仁業寺） ③渡邊 如信（本派信覺寺） ④寺本 温（長崎組真蓮寺・四日市別院輪番）	オリジナルテキスト	(1) 人生において「本当の幸せとは何か」・「生まれた意義」について考える。 (2) 講師の体験をとおしながら、「幸せ」について具体的に考えを追及する。 (3) 宗祖の説かれる「救い」と、我々の求める「本当の幸せ」について考えを深め、お念佛の教いが何故われわれに必要か。換言すれば、救いを求めるこの必要性を身近な事として、生きていか上で大事な事として発見できた。	200,000円
13	八女	坊守婦人学習会	継続	正信偈に学ぶ	偶数月の第二土曜日14：00～16：00	組内各寺回し	坊守・婦人	30名	同朋の会教導	『正信偈に学ぶ』	正信偈を実際に書きながら内容について学ぶ	一人500円
14	三瀬	坊守・女性門徒の会学習会	継続	念佛の相続～聞法のご縁づくり “正信偈”に学ぶ 人と生まれたことの意味をたずねていこう	①10/16②11/11③2/19 ④2/27⑤4/16⑥5/19	①正覚寺②長福寺（日田玖珠組）③則善寺④正法寺⑤明正寺⑥福法寺	坊守・女性門徒の会会員	240名	武内和朋（日田玖珠組長福寺） 高田悦也（正法寺） 江上賢成（林松寺） 青木玲（覺圓寺）	勤行集	11/11真宗寺院の歴史的建造物にふれながら、仏教讃歌も学ぶ。社会と家庭の変遷を確認しつつ、現在も女性が問われている問題点を仏教的視点から見出し、真宗が私たち自身にどう表現されているか問い直す。	645,000円
15	山門西	女性門徒の会・坊守会合同研修会	継続	いま寺に生きる～問い合わせと共に歩む生活を～	①2024年10月25日 ②2025年5月9日	①崇琴寺 ②西光寺	坊守・女性門徒の会	①約50名 ②約50名	①吉元 信曉 (九州大谷短期大学学長) ②本田 淳史・本田 智子（福岡組西光寺）		①「生死の苦海はとりなし」親鸞聖人の和讃に学ぶ、法話終了後、演奏（Torio Lienフルート／ヴァイオリン／ピアノ） ②「真宗の宗風」法話終了後、耳ヨガ	

16	山門東	女性門徒の会研修会	継続	私達の宗祖「しんらんさま」のことをもっとよく知ろう！	2024年11月15日（金）13：00～16：00	妙光寺	女性門徒・組内坊守	60～70名	光善寺念佛一座（6名）	なし	大きなスクリーンに映し出される映像と映像に合わせた台詞と音楽、コーラスで親鸞聖人のご生涯が語られた。後半で仏教讃歌を共に歌い、本堂いっぱいの御門徒の方々が「心がひとつになつた」様であった。	130,000円
17	大牟田三池	第4回 大牟田三池組 真宗女性研修会	新規	「絵解き法話 親鸞聖人伝」	2024年11月16日（土）13：30～16：00	光圓寺	坊守・女性門徒・育成員	57名	大城 恵利子（三浦組正覚寺）		プロジェクトを使用して「御絵伝」を場面ごとに講談調にお話していただきました。 御絵伝を細やかに見る機会はないので、とても好評でした。	100,000円
18	唐津	女性研修会	継続	「生活の中に仏法を」	2024年10月16日（水）10：00～12：30	法徳寺	伊万里ブロック 女性門徒の会	32名	中西 無量（田川組西岸寺）	赤本	「供養」という言葉は「供給資養」の略であり、「ささげ、いただく」という意味になる。私たちは、ついよかれと思って、ささげることばかりに囚われてないか。亡き人を前に、「ありがとう」から始めてみるのはどうか？ 仏事は、阿弥陀仏と諸仏が勧わなければ成り立たない。（レジュメの緒で説明）自分の思いだけでは、仏と向き合うことはできない。名（南無阿弥陀仏）を呼ぶことで、浄土を思い出させてもらえるのではないか。	75,000円
19	長崎	女性門徒の会 研修会	継続	「生活を聞法の場に～寺朋（てらとも）とでおおう～」 お寺で顔を合わせ語り合うご縁をいただき、自分らしい人生をどのように生きていくか仏法聴聞を通して考えていただきたい。	2025年2月17日（日）10：00～15：00	佐世保別院	組内女性門徒・坊守	115名	寺本 温（四日市別院輪番）	講師資料	受付9：30/開会式10：00（総礼、真宗宗歌3番まで、勤行、組長挨拶、女性門徒の会々長挨拶、総礼）/講義10：00/昼食12：10/班別座談12：50/まとめ講義14：00/閉会式14：40（総礼、三帰依パーリ文、佐世保別院輪番挨拶、恩徳讃、閉会の辞） 聞法とは、自分のものさしで聞くのではなく、自分のものさしを聞くのである。信心とはまことの心であるが、それは如来の真心に頷く心、煩惱具足の身という自分に頷き生きること。「高原の陸地には、蓮華を生ぜず。卑湿の淤泥に、いまし蓮華を生ず。」	210,000円
20	熊本中	九州教区熊本中組 女性門徒の会研修会	継続	組内各寺の婦人会・女性門徒の会が持ち回りにて年1回開催。テーマ「親鸞聖人の常の仰せ」	2024年11月14日（木）10：00～16：00	東本願寺熊本会館	女性門徒・坊守を中心住職・代務者・寺族・一般	50名	保々 真量（熊本東組光行寺）	歎異抄	テーマに基づき、師による講話と座談。	200,000円
21	熊本北	花まつり	継続	釈尊の誕生を通して「人と生まれたこと」を、子どもとのかかわりの中で学ぶ	2025年4月5日（土）	光行寺	子ども・保護者・その他	52名	福田 了樹（善證寺）	なし	事前の話し合いをもつ中で、誕生について語り合う。 13：30受付・開式・宗歌/14：00勤行/14：30法話・花御堂入堂・お菓子での御華束作り・真宗かるたゲーム/16：00恩徳讃・終了	68,949円 材料費・菓子・甘茶・カルタ・講師料
22	熊本西	女性門徒の会研修会	継続	テーマ「残された私たちはどう救われていくのか」～通夜・葬儀のあとに～	2024年9月29日（日）9：30～15：00	光顕寺	組内婦人、坊守、寺族、有縁の方々	50名	吉元 信暁（九州大谷短期大学学長）	なし	身近な方の通夜・葬儀を通して、残された者が教えに遇うこと、救われていくことは、吉元信暁氏を招いて法話を聞く。 また、11月18日（月）には、菊池政和氏を講師に招き、テーマ「私のためのナムアミダヅツ」を掲げ、法話を聞く。会場は宗覺寺。 2025念4月25日（金）には「お勤め特伝」として、浄照寺住職、鷺尾祐照氏をご講師として日常のお内仏での声明を学んだ。	90,000円
23	熊本南	女性門徒の会	継続	終活から宗活へ	2025年5月29日（木）	霧島温泉 旅行人山荘	女性門徒一般	30名	竹下 秀覚（正念寺）	講師作成資料	具体的な事を通じて「宗」を考える。	50,000円
24	熊本東	女性門徒の会総会並びに聞法会	継続	組内女性門徒の方々に、総会にあわせて広く仏縁を結んでいただく	2024年8月26日（月）13：00～15：40	万行寺	女性門徒、坊守	58人	橘 彰映（熊本南組光誓寺）	なし	・開会（宗歌・勤行・あいさつ）-総会-法話-閉会（あいさつ・恩徳讃） ・講師からの法話 講題は「五十の日暮れ～私の目にはじめてあふれた獣の涙～」	
25	鹿児島	鹿児島組女性研修会	継続	趣旨：宗祖親鸞聖人の教法を根幹とし、組内寺院の坊守・女性門徒の同朋生活の実をあげることを目的とし、年度内に2回の研修会を開催。 テーマ：「南無阿弥陀仏 いつでも どこでも だれにでも」	第1回研修会：2024年7月19日（金）14：00～15：00 第2回研修会：2025年4月23日（水）13：30～15：00予定	鹿児島別院大谷会館ホール	鹿児島組内 女性門徒・坊守・他	100名程度	第1回研修会： 富重 真直（組長） 第2回研修会： 森田 考作（同朋寺） 齊藤 真人（明信寺） 青矢 大宗（大行寺）	なし	第1回研修会 講題「難思議往生を得る人」 第2回研修会 3名の若手僧侶によるテーマに沿った内容での法話	150,000円
26	宮崎	実施なし										

※各組より提出いただいたものをベースに作成しています。

2024年度各組教化事業報告一覧（課題別研修）

NO.	組	事業名	実施日時	会場	講師・提言者等	日程	案内方法	対象	参加人数	自己評価（4段階）	目的・工夫した点・留意点など
1	宇佐	育成員研修 (解放研修)	2024年10月16日（水） 13:30~16:00	四日市別院	牛島 達郎 (教区駐在教導)	13:30~14:00 開会行事 14:00~15:30 研修 15:30~16:00 質疑応答・情報交換	葉書・メール	住職・坊守・寺族・組教化委員	16名	4 満足	昨年度に続き、教区教導牛島達郎を講師に、テキスト『あなたへ～安穏なる世をめざして～』を輪読しながら研修。(輪読については識字の課題が指摘された。) 最後に、参加者の課題や思いについての情報交換を行い、さらなる学びの課題をあきらかにした。 この研修を縁として、地域の人権研修会への参加が図られるところともなった。
		育成員研修	2025年2月6日（木） 18:00~20:00	福圓寺	尼子 信也 (福圓寺)	18:00~18:10 開会行事 18:10~19:30 声明講習 19:30~20:00 質疑応答	葉書・メール	住職・坊守・寺族	13名	4 満足	これまで、真宗仏事を考えるという課題に取り組んできた。今年度は、慣れ親しんでいるが故に自己流に陥りがちな日常の声明作法について、点検、練習を行うこととした。内容が多く、十分な練習ができず、課題を残した。
		宇佐組同朋の集い	2024年11月13日（水） 13:30~16:00	四日市別院	門脇 健 (大谷大学名誉教授)	13:30~14:00 開会行事 14:00~15:30 研修 15:30~16:00 質疑応答・情報交換	チラシ、手紙、メール	宇佐組門信徒	67名	4 満足	「お葬式ってなんだろう？」をテーマに月刊誌『同朋』に同じテーマで寄稿されている大谷大学名誉教授門脇健講師を講師にお迎えし、浄土真宗の教義を通して、お葬式の意味を考える集いをめざした。葬儀について、その意味を真剣に考える機会が少ない門信徒の方々に、広く呼びかけ、宇佐組同朋の集いとして開催したのである。 案内は、各組門徒だけではなく組門徒会員・女性門徒の会会員・推進員など宇佐組に関係する多くの方にチラシを同封したダイレクトメールを送り、参加を募った。また、葬儀社からの参加もあった。
		宇佐組三世代の集い	2025年3月23日（日） 13:30~15:00	四日市別院	佐藤 公代（門徒会副会長） 室長 大庭（正法寺）	13:30~13:50 開会行事（お勤め・挨拶） 13:50~14:10 絵本の読み聞かせ 14:10~15:30 おもちゃの広場（オリジナルおもちゃの制作、デスクゲーム、Good Toyによる朋遊び）	チラシ、手紙、メール	宇佐組門信徒	50名（スタッフ10名）	4 満足	宇佐組では子どもの数が著しく減少し、ほとんどの寺院で子ども会もままならない現状である。また、独居老人も多く三世代型の家庭は少ない。このような現状のもと、宇佐組では、子どもたちの莊嚴をめざす青少年教化事業の展開は厳しい。そこで、宇佐組では三世代の集いを開催し、家族の連帯や高齢者の支援をもめざす青少年教化事業を開催している。今年度で3回目となるこの事業は、認定NPO法人芸術と遊び創造協会の支援により、木のおもちゃを中心としたGood Toyによる遊びを取り入れたおもちゃの広場をもうけ、三世代が朋（とも）に無心になって、莊厳な別院本堂の中で活動する場を構築した。 また、お勤めや、青少年教化資料の絵本の読み聞かせを体験させる中で、非認知能力としての宗教体験も図ることであります。 本年度の取り組みでは、オリジナルの木のおもちゃ「ガリガリとんぼ」の製作や、「カエルさんジャンプ」「おっとうトランク」などのボードゲームを三世代、二世代の家族、参加者とともに無心に楽しむことを主眼として展開した。参加者のアンケートにはもっと時間が欲しいなどの感想が多くみられた。
2	豊前中津	育成員研修	2025年6月6日（金）14:00~17:00		藤井 昭裕 (京都組覺法寺)		寺院へ郵送	寺族			・寺族・僧侶の研鑽の場を設け、育成員としての自覚を持つ。 ・近年増えた墓じまいに関して、注意すべきことや手順等を講師に指導いただく。
		解放研修	2024年10月28日（月） 13:30~16:30	法覚寺	横田 売雄 (解放協議会)	13:30開会・講義・休憩15:00意見交換・質疑・アンケート16:00閉会	書面郵送	住職・坊守・門徒	20名	2 やや不満	①『学び方を学ぶ』というサブテーマを立てたが、それはどこからどのように考えたらよいのかを学びたかったからだが、分かりにくくただ「学ぶ」でよかったかもしれません。 ②被差別当事者の苦痛や感情の共有を目的として、講義の前に「是旃陀羅問題について」「はじめに」を参加者と一緒に朗読した。よかったです。 ③組としては、年1回の研修を計画しているが、大分での差別事件の学習もできていないので、研修回数の工夫が必要だと考えられる。 ※講義は分かりやすく、問題点は伝わったと感じた。
		小学生夏休み子ども会	2024年7月30日（火）13:00~31日（水）12:00	圓林寺		一日目 13:00受付/13:30開会/14:00スイカ割/15:00班別対抗レク/16:00境内清掃・レク/17:00夕事勤行・読み聞かせ/18:00夕食/19:00入浴/20:30花火/21:30就寝 二日目 6:00起床/6:30ラジオ体操・散歩/7:00晨朝勤行/7:30朝食/8:15宿題/8:45移動/9:15ブルー/10:30移動/11:30閉会	組内寺院へ郵送案内	小学生	29名	4 満足	若手スタッフの育成、次世代につなげる青少年教化。
3	京都	夏季講習（女性門徒の会）	2024年7月1日（月）~12（金）	興隆寺・薬縁寺・通善寺・恩高寺・即傳寺（各小组）	藤井 昭裕（覺法寺） 柳澤 明（薬縁寺） 藤ノ原 恵行（正明寺） 井上 道和（明照寺） 内田 祐司（淨光寺） 曲 千種（安勝寺）	10:00~12:00 13:30~15:30		女性門徒・坊守	各小組ごとにお寺を通じて	4 満足	この研修の為に、事前の打ち合わせ、事前学習をとりおこなった。ただ、大変暑く、時期を考えてほしいの要望あり。
		同朋の会	2024年7月19日（金）~2025年5月まで	事前学習5回 各小组4回	若手僧侶	基本午後	ハガキ	門徒会員、女性門徒の会会員、推進員、一般門信徒	5~15名	4 満足	・総説的問合会、若手僧侶育成。 ・事前にテーマ（お題）を話し合い、小組の同朋会では座談から始める等を行って、参加者は活発に意見を出すようになった。
		育成員講習	2024年10月8日（火）・9日（水）13:30~17:00	薬縁寺	大江 憲成 (豊前中津組觀定寺)	開会/講義/質疑/閉会	ハガキ	住職・坊守・寺族	12名（ネットも含む）	3 やや満足	例年参加者が残念ながら少ないが、濃密な時間をいただいて、大切な会だと思うが・・・。
4	田川	田川組 青少年企画部	2024年11月18日（月）10:30~11:30	通善寺	村上 婦命 (通善寺)	開会・園長挨拶・各園紹介・勤行・読み聞かせ・閉会・写真撮影	各園よりお知らせ	未就学児	80名+スタッフ	3 やや満足	コロナ禍以降まともに活動できなかったが、大谷保育協会田川地区加盟店が毎年行っている「ごとも報恩講」を合同で企画実施した。子ども達に迫力のある勤行を聴いてもらえたと思う。 コロナ以前のような活動は、できないかもしれないが、子ども達が仏法に触れる機会は作っていきたいので、今回の企画は活動復活の第一歩としては、実施してよかったです。
		田川組 同朋の会推進員	2025年2月24日（月）14:00~16:00	法光寺	楽心堂本舗・組長	開会・落雁作り・組長法話・座談会・閉会	郵便発送	会員、寺族希望者	24名	3 やや満足	これまでの堅い学習会から趣旨を変えて少しでも人が集まる企画を実施してみた。一部では推進員の活動としてはどうなのか、との意見の声も伺ったが、参加者からの声は、上々だった。多様な意見を伺いながら、これから活動に反映させていきたい。 座談会では終活が話題となり、終活は具体的に何をやっているか、後の代に何が残せるのかなど、各々の想いが飛び交っていた。 また推進員は会員の高齢化が特に顕著である。来年度は教区指定の推進講座があるため、各寺院から新しい推進員の誕生を願うばかりである。また同時に、私たち寺院の呼びかけ説き文句がかなり重要になるので、どうすれば推進員になってもらえるかを考えたい。
		同和部学習会	2025年3月4日（火）14:00~16:30	法光寺	星野 明晴（専福寺）、同和部員	開会・発題・協議・閉会	LINE	同和部員、希望者	16名	3 やや満足	3月4日に学習教材として『御同朋を生きる』『是旃陀羅問題について』を使用した。そもそもの親絆の成立から学習して、説かれた対象が尊崇帝という貴族の立場の人間だったこと、旃陀羅といいう身分の人に対しては何も訳されていないし、ただ蔑まれて終わっていることがよくわかった。 次回は4月14日に講師として中西無量氏を迎えて、差別問題がおこった当時の状況や、地域の方に向けて行った講習を私たちも受講する次第である。 また「同朋新聞」を通じて田川組推進員の会さんも是旃陀羅問題に興味を持っていただいたみたいで、3月から共に学習をしています。 どうすれば差別がなくなるのか議論することも重要だが、なぜ差別が起こるのか、その根拠を探り、議論することも併せて重要なと思う。
		田川組 仏教公開講座	2025年4月9日（水）14:00~16:00	田川組青少年ホール	二階堂 行壽 (東京教区)	入場・開会・講演・閉会	郵便発送	寺族・門徒	190名	3 やや満足	田川組では20年前からこの講座を開催しています。今年度は2回開催予定です。（4/9・5/31） 学びとしては、「入門講座」的な位置づけであり、仏教に興味を持っていたい方々が、各寺院の法要参詣へつなげたいという願いを持った講座です。 また、各部門と共催という形をとってより多くの人に仏教に触れてもらおうとする機会もあります。 去年は、参加費を全て能登半島地震の義援金としましたが、今年は5これまでの形態に戻す予定です。 参加者の高齢化が課題ではありますが、田川組の看板施策として今後も計画していくたいと思います。
5	大分東	田川組「意見交換会」	2025年5月22日（木）13:30~17:00予定	法光寺	城生 信隆 (熊本中組淨勝寺)	開会・講義・質疑応答・閉会	LINE、郵便発送	寺族	未定		前回の意見交換会において、相続調制度とは何かと課題があがった時に、しっかりと答えられる人がいなかったため、これは勉強しないといけないということ、歴史と内容について詳しく説かせる方を招いて講義していただきました。 対象が寺族となっているが、誰かしらを留守番役として各寺院に残しているため、寺族全員が参加できるのは、極めて難しい。 また、坊守の意見が大事であることが、前回の意見交換会にて再確認できたので、積極的に声掛けていきたい。
		真宗公開講座	2025年2月21日（金）13:30~15:30	ホルトホール大分	青木 玲 (九州大谷短期大学准教授)	13:30開会行事・13:45講義・15:30質疑応答	ハガキ・LINE	一般市民	80~100名	4 満足	いつも多くの方々に集まって頂きが難い。この集まりが、お手次の参詣につながることを願うとともに、そのご縁を考えていただきたい。第2回は、5月29日（木）13:30よりホルトホール大分で行います。
		組女性門徒の集い	2025年6月11日（水）14:00~16:00	光西寺	鈴木 君代	開会行事・実行委員会からの報告・法話・質疑	ハガキ	組内女性門徒の会・坊守・育成員			
6	大分別	僧侶研鑽会	2024年12月8日（日）14:00~15:00	ホルトホール大分	組内僧侶	法話と輪読	ハガキ・LINE	寺族・推進員・門徒会員		4 満足	2025年2月23日に実施。4月及び6月に開催予定。僧侶、特に若手僧侶の研鑽と法話を聞いて頂く機会を設ける。今一度、親しみがある正信偈を通して真宗の学びを深める。
		夏期講習会	2024年7月19日（金）~20日（土）13:00~翌15:00	ホルトホール大分	延塙 知道 (田川組昭光寺)	別紙	郵送	寺族・ご門徒	37名		・この夏期講習会は、1925（大正14）年に旧大分組で「住職子弟の修業研鑽」を目的として始まり、今回が第87回となります。 ・兼職の住職が多いので、曜日の選択が難しい。
		一期の会	①2024年10月10日（木）13:00~16:00 ②2025年5月19日（月）13:30~16:00	庄内公民館	保々 真貴 (熊本東組光行寺)	13:00受付/13:30講義/15:40質疑応答/16:00閉会	各寺院	坊守・前坊守・若坊守・女性門徒・希望者	70名	4 満足	年2回の開催となるが、楽しみにしている参加者が多い。
6	大分別	ブロック別解放学習会	①2025年4月14日（月）13:30~16:00 ②2025年4月15日（火）13:30~16:00 ③2025年4月23日（水）13:30~16:00	①即願寺 ②随喜寺 ③淨願寺	藤村 幡 (解放協議会) 横田 売雄 (解放協議会) 中村 昌法 (解放協議会)	13:30開会行事/13:45講義/14:45休憩/15:00グループ討議/15:45全體協議/16:00閉会行事	各寺院	寺族・ご門徒さん	①13名 ②15名 ③	3 やや満足	テキスト「あなたへ」を用いた研修の3回目である。参加者が少ないことが課題となるが、継続して参加している人は、学習が深まっていると感じる。

7	奥豊後	育成員研修	右記に記載	組内各寺院	原則毎月第二土曜日15：00～17：00 (年10回)	メール・ハガキ		4 満足	月1回の月例組会が定着してきた。寺族が定期的に集まって研鑽し、また諸々意見交換する場として、有効に機能していると考える。 会所は組内各寺院にお願いしている。普段訪れる機会も少ないので、他のお寺さんの状況を知るよい機会ともなっている。 内容は①仏事・声明作法研修②開法会③般若講研修等、開法会では、今年から3年間(1年に3回、3年間で9回)九州大谷短期大学青木玲准教授に講師をお願いし、「歎異鉢」を系統的に学習することとした。青木先生の第一回目の講義を4月に実施した。 月例組会は定着してきたが、一方で組会に全く参加しない寺院が數カ寺ある。寺の規模やその他個別に事情のある寺院もある。これらの寺院を含めてお寺を預かる者としての立場を共有する必要があると想える。4 組会の案内、議事録は全寺院に送信または送付している。		
		推進員研修	2024年11月7日（木）14：00～16：30	光照寺	宮岳 文隆 (大分別府組心光寺)	個人宛ハガキ	推進員及び推進講座受講者	15名	2 やや不満	推進員が高齢化し、参加者が少なくなってきた。奥豊後組では、2024年度に同朋の会推進講座を開催して、新たな推進員を養成している。本年度の推進員の研修には今現在同朋の会推進講座を受講中の方にも声掛けして、参加を募っている。 私たちは日常生活の中で、悩み迷います。その悩み、迷いを仏法に照らす場がお寺の本堂ではないかと思います。宮岳先生には「日常生活の中でのお寺と私」のテーマでご法話をお願いした。 本年度2回目を、4/15光照寺にて実施予定です。	
		真宗入門講座	2025年5月予定	未定	組内住職	メール・ハガキ	全門徒（お寺から連絡）	40名程度予定		「帰敬式」をテーマとして取り上げる。帰敬式受式を推進するために、一般のご門徒さんを対象に帰敬式について理解を深めさせていただく。 帰敬式の意義、意味について説明する。帰敬式執行については動画でその具体的な内容を示す。 本講座の事前の取り組みとして、寺族を対象に研修会を実施した。（3/8例組会にて）牛島駅在教導講師による。 1 帰敬式とは 2 帰敬式の意義と帰依三宝 3 寺院での帰敬式執行について 4 帰敬式関係法規 5 帰敬式法座について 以上について研修を実施した。 結果としてご門徒さんの帰敬式受式につなげたい。	
8	日田玖珠	解放研修会	2025年4月24日（木）18：30～20：30	西光寺	講師：青木 玲 (九州大谷短期大学准教授) 助言者：牛島 達郎 (教区駐在教導)	18：30開会・真宗宗歌・趣旨説明 18：45講義 20：30閉会・恩徳讃齊唱	Eメール発信	住職、坊守、僧侶、寺族	20名	①は施陀羅問題学習テキスト『御同朋を生きる』の発刊までの経緯と、今後の学習の方向性を確認すること。 ②は施陀羅問題の問題点を整理し、今後の学びが深まることを期して、講義をお願いした。	
		「親鸞聖人のご和讃」に学ぶ	2025年5月16日（金）14：00～16：30	専念寺	吉元 信暉 (九州大谷短期大学学長)	14：00開会・真宗宗歌 14：10講義Ⅰ 15：20講義Ⅱ 16：00質疑 16：20閉会・恩徳讃齊唱	郵便発送 Eメール配信	推進員、住職、坊守、寺族	未定	昨年に引き続き、ご門徒の日々の勤行や研修会や法事の場で親しまれている和讃に学ぶところから、親鸞聖人の教え・み心に出遇える場となることを願いとして企画した。 この研修会は、推進員が主たる対象であるが、ご門徒との共学の機会として、住職・坊守・寺族にも案内し、推進員の参加促進を促した。 また、研修会終了後に講師を招いて懇親会を予定した。	
		「葬儀式」に学ぶ（育成員研修）	2025年5月18日（日）14：00～17：00	西光寺	鬼頭 武志 (本廟部堂衆)	14：00開会・真宗宗教齐唱 14：20講義Ⅰ 15：30講義Ⅱ 16：30質疑 16：50閉会・恩徳讃齊唱	Eメール発信	住職、坊守、僧侶、寺族	25名程度（予定）	昨年に引き続き、「葬儀式」の声明作法についての学習の場とする。葬儀はご門徒、あるいは広く門徒外の人々との重要な接点であり、執行者の信仰心がその次第を通して参り、参列者に表される機会でもある。 今回の研修会では「路念仏」「和讃」についての実践的な見識を深めていく機会としたい。	
9	福岡	寺院の現状を学ぶ	2025年4月21日（月）13：30～16：00	受楽寺	大江 則成 (出版部長)	13：30開式/13：45講義①/14：40講義②・質疑応答/16：00閉式・散会	LINE	寺族	約25名	組内寺院における課題（これまで・現在・これから）を語り合う。また、客観的な数値など、現在の寺院を取り巻く環境を知り、今後の教化事業の構築を目指す。 「寺院の現状並びに今後の歩み」というテーマのもと、お話ししていただけ。	
		法話学習	2025年3月6日（木）13：30～16：00	淨慶寺	吉元 信暉 (九州大谷短期大学学長)	13：30開式/13：45講義①/14：40講義②・質疑応答/16：00閉式・散会	LINE	寺族	20名	「法話実習」通夜・法事・法要などで法話について実習する。今回は、「話し方」などについても学び、相互にスキルアップを図る。 「法話で大事にしたいこと」という講題にて 1.法話（ことば） 2.「私の弟子」であること 3.伝わる という3つのポイントでお話ししていただけ。	
		声明学習	2025年1月21日（火）13：30～16：00	常楽寺	藤岡 格 (山門東組極妙寺)	13：30開式/13：45講義①/14：40講義②・質疑応答/16：00閉式・散会	LINE	寺族	21名	通夜・葬儀における莊厳・式次第・装束と共に学び、福岡組内の共通理解の基礎としたい。また、今回は寺族の通夜・葬儀について実習する。 「寺院葬儀」について、久留米教区出版の『寺院における葬儀・中陰の手引き』によりながら、御講師にお話ししていただき学習する。	
10	久留米三井	解放運動	2025年3月31日（月）15：00～17：00	本福寺	横田 亮雄 (解放協議会)	「あなたへ」の輪読・座談	郵送	育成員	10名	・差別発言を通して、一人ひとりが考えていく。 ・参加人数がもう少し増やしたい。	
		青少年研修部	2025年4月11日（金）18：00～20：00	淨蓮寺	今年度は依頼をしていない		育成員・研修スタッフ	3～8名程		・2023年度より、新しい組として活動がスタートし、旧組での取り組み等を話し合い、継続できる行事を行っていく。 ・子ども奉仕団に参加 ・組内の「花まつり」「子どもの集い」の実施（留意点） ・人材不足のため、各研修部と協力していく	
		育成員研修	2024/11/23～2025/1/26	福岡市博物館		2024年11月23日～2025年1月26日		組内育成員		・組内寺院の活性化 ・住職・坊守の研修 ・九州真宗の源流・念仏の歴史をたどるのチケットを1ヵ寺2枚を助成し、門徒・育成員で学びすることにした。年表みたいに観られて、わかりやすかったという感想がありました。	
11	三井西	育成員研修会	2025年4月24日（木）18：00～20：00	蓮明寺	津垣 慶哉 (田川組正應寺)	法話、座談	書面とSNS	育成員、希望者	4 満足	「真宗の偈」をテーマに、「偈」として共に唱和してきた偈文の意義を学ぶ内容とした。同朋会運動を推進するうえで、「共にうたう」という原点を確かめ、儀式と聞法、学び合いといふことに重点を置く研修内容とした。	
		子ども会・出張事業	2025年5月5日（月）13：30～16：00	蓮明寺		おつとめ・法話・紙芝居・音楽・ワークショップ	チラシ	地域の子どもたち	子ども約30名/スタッフ約5名	蓮明寺で毎年開催している花まつりに、組内スタッフも参加し、紙芝居やお店を出し、現場の青少年教化を体験してもらいました。	
		解放現地研修	2025年6月9日（月）・10日（火）	長崎教会・長崎市内	照屋 隆司 久保山 善友 (明願寺)	非核非戦法要に参加し、翌日は組でフィールドワーク	ハガキ	僧侶	約8名	戦後80年で企画されている非核非戦法要に参加し、長崎の原爆の歴史、教区の取り組みに学ぶ。翌日は、長崎人権平和資料館、二十六聖人記念館などをフィールドワークで巡る研修。	
12	浮羽	お聖教に学ぶ	①毎月28日19：30～21：00 ②毎月1回		①光福寺（東ブロック） ②各寺持ち回り（西ブロック）	①佐藤 智水（光福寺） ②会所住職（西ブロック）	勤行・講読	電話連絡	各寺の坊守 ①5名 ②7名	（東ブロック） (1)『大経』の現代語訳を、居行院法海講師ならびに香月院深勘講師・藤田宏達講師の『大経』科文及び『浄土和讃』を参照しながら、講読する。参考書：金子大榮『大無量寿経講話（上）・（下）』（2024年2月28日～2024年11月28日） (2)『小経』の現代語訳を、居行院法海講師ならびに香月院深勘講師・藤田宏達講師の『大経』科文及び『浄土和讃』を参照しながら、講読する。参考書：金子大榮『阿弥陀経講話』（2025年1月28日～2025年2月28日） (3)青木玲『はじめて学ぶ『阿弥陀経』』を、居行院法海講師ならびに香月院深勘講師・藤田宏達講師の『小経』科文を参照しながら、講読する。（2025年1月28日～2025年6月28日） (西ブロック) (1)勤行集の同朋奉説式の和讃について、各寺住職が講師役を務め、研修する。	
		佛教講座	①2024年10月28日（月） ②2025年3月6日 13：30～15：10	①光福寺 ②圓應寺	①洪谷 行成（駐在教導） ②甲斐 恒平（駐在教導）	勤行・法話・質疑応答	各寺より案内	各寺の門信徒および寺族 ①25名 ②12名	3 やや満足	(1)お念仏の教えに生かされた人生の豊かさについて、先達や講師の体験をもとに、ご安心談をお聞かせいただいた。実例を交えての法話であり、聞きやすく、喜ばれていった。	
		佛教講座	2025年6月26日（木）予定 19：00～20：30	光教寺	藤浪 遊 (京都教区淨慶寺)	勤行・法話・質疑応答	各寺より案内	各寺の門信徒および寺族 30名予定			
13	八女	組同朋総会	2024年11月8日（金）13：00～14：00	淨慈寺	同朋の会教導	13：00今年度の事業説明/13：30質疑	チラシ	各部門の代表者	32名	今年度の教区・組・ブロックの事業計画を説明。各部門（組門徒会員、総代、婦人会等）の代表者から質疑	
		解放研修	2024年11月8日（金）14：00～16：00	淨慈寺	島村 宣澄 (八女組淨慈寺)	14：00問題提起/15：00質疑	チラシ	各部門の代表者	32名	4 満足	教区・本山等での学びを発題・座談。今年度は宗憲について。
		育成員研修	2025年5月21日（水）～23日（金）	光善寺	四衛 充 (岐阜高山教区不遠寺)	21日13：00～23日11：00	チラシ	組内育成員	20名	4 満足	2泊3日寝食を共にし、主に大経を学ぶ。2日目は参加者からテーマを出し合い、公開講座として広く参加を呼びかける。
14	三潴	三瀟組坊守・若坊守研修会	2025年4月23日（水）13：30～16：00	大谷会館	藤浪 遊 (京都教区淨慶寺)	13：00受付 13：30開会式・勤行 14：00法話・15：10質問用紙記入と休憩 15：30まとめの法話 16：00閉会式	チラシの配布	前坊守・坊守・若坊守・寺に身をおく方			日々の生活中で、聴聞を求める心が、いつも私を押し出してくれる。共に聞いて行こう。
		合唱	①2024年9月25日（水） ②2024年10月31日（木） ③2024年11月15日（金） 14：00～16：00	長入寺	安武 和音 (長入寺)	準備運動・歌の練習・法話・歌の練習	葉書	歌を歌いたい方	20人前後	3 やや満足	仏教説話を歌として寺に集い、歌についての御法話をいただくことで、教えに触れるきっかけとなる場としてていきたい。 「仏教説話を歌の歌に関する法話」というスタイルを大切に例会を行う。 団員が少なくなってきたので募集したい。
		同朋青少年研修会	①2025年1月16日（木） ②2025年3月14日（金） 19：30～21：00	南福寺 善教寺	島村 宣澄 (八女組淨慈寺)	開会式・勤行・法話・質疑応答・閉会式	チラシ	推進員・青少年門徒・寺族	40人前後	4 満足	『宗祖親鸞聖人』をテキストに御法話をいただく。10年以上続いている講座なので、聞く側も講師の話に慣れて質疑応答も活発である。
		山門西組寺院研修会	2025年3月5日（水）13：30～16：00	眞勝寺	長田 浩昭 (京都教区法傳寺)	真宗宗歌・勤行・挨拶・講話	組会時連絡・チラシ配布	組内全寺院・門徒会	24名	4 満足	当初の演題とは異なり「歴史に真向かう～私たちが得たもの失ったもの」という演題で「〇「解放令」が持つ意味〇「下寺」という存在〇門跡から始まる寺格の発生〇能登半島地震が間いかける寺院の歴史〇同朋会運動を見過ごしたこと〇寺院の成立〇幕府による寺院の統制〇本願寺自身による末寺の統制〇新寺建立の禁止〇寺種制度の成り立ち〇外国人が始めた幕末（寺種制度が貫徹した）日本人の姿」という十一の大なる問題提起をしていただき、内容が深かった研修であった。参加人数が少なかったので、残念であるが、寺院も門徒も知るべき課題が多くあった。今後の組の教化活動の模にしたい。

15	山門西	組教化全体研修	2024年10月24日（木）13：30～16：00	真勝寺	谷 大輔 (京都教区良覺寺)	勤行・挨拶・ご法話・質疑応答	チラシ配布（全門徒会員）	組内全寺院・門徒会	26名	3 やや満足	教区改編に伴い、「教化の基軸は組に置く」ということを念頭に、現在組では教化事業のあり方を振り返り、確認模索している。 今回は研修テーマ「そもそも組における教化」とはのもと、組門徒会の皆さんと寺院で共同教化の場としての組のあり方を考えた。内容として「組の中で大事にしたいこと。集まる場の創造。フリートークで話す場の工夫・組織改変につなげる」等の話を共有する。教化委員会の活性化、執行部会の仕事軽減も考えて、今後検討していく。
		大衆供養	①2024年7月27日（土）13：00～16：30 ②2024年7月28日（日）10：00～12：00	仁業寺	藤本 愛吉 (三重教区正實寺)	7/25お磨き奉仕・内陣莊嚴 7/26仏花講習会・習礼 7/27・28勤行・前講・法話	チラシ配布（全門徒）	組内全寺院・全門徒	約70名（門徒）+僧分	4 満足	山門西組の中心的教化事業として、2日間勤行・ご法話をする。「生活を聞法の場に一真宗門徒としてー」の演題で教化活動。藤本氏のご法話は和氣藹々とご門徒と一緒に聞法する。 ・教化として門徒会とのお磨き奉仕でも仁業寺住職より法話。 ・仏花講習会では、専門家に習い研修会をする。 ※事前準備では、寺院と組門徒会が中心に行っているが、当会所寺院の総代・世話方の参加も寺院活性化という面で今後促す必要もある。（会所寺院の負担軽減も考えつつ）
16	山門東	住職学習会	①2025年3月8日（土） ②2025年4月19日（土）	①覚成寺 ②入性寺	横田 売雄 (三猪組本地寺)	法話・輪読・座談	組会にて周知	組内住職ほか	20名	3 やや満足	例年3月と4月の間に2回、住職学習会として、部落問題、靖国問題を学んでいる。 2025年度は、2017年に旧日豊教区のお通夜の席で実際おこった差別発言について学んだ。 講座は、テキスト（『あなたへ～安穩なる世をめざして～』）を輪読する形で行われ、各章ごとにそれぞれ意見交換・座談がなされた。 「個人の證言は絶対に行わないこと」「初歩の疑問（こんな質問して良いのかと思う事）や不明な点は遠慮なく出し合う場であり、そのことで差別発言だとかの責めあうことは決してしない」ということに留意して行った。 第2回は本年4月19日を予定している。
		大衆供養（夏安居）	2024年7月27日（土）～29日（月）	徳円寺	尾畠 文正 (同朋大学名誉教授)	10：00 勤行・法話 12：00 星食 13：00 勤行・法話 ※28日は午前7時より晩天講座	チラシ手交	組内寺族、門徒他	3日間合計100名程	3 やや満足	当組は例年、7月に3日間、大衆供養（夏安居）を行っている。コロナ禍により中止していたお斎も再開された。本年も尾畠文正氏より出講いただき、「『大経』の救い」を講題として寺族・門徒が共に学んだ。 本事業は、例年7月下旬に開催しているが、毎年暑くなっているので、暑さ対策として来年より10月に開催することが決定されている。
		仏教子供会	2025年4月29日（火）	九州教務所	教区スタッフ・山門東組若院会	11：30 ミヤマックス出発（大型バス） 12：30 星食（教務所） 13：30 開会（勤行・あいさつ） 14：00 ブース開放（腕輪念珠作り、段ボール迷路、缶バッジ作り等） 16：00 閉会 17：30 ミヤマックス到着	チラシ	小学生他			
17	大牟田三池	お寺DEあそぼ～	2025年6月22日（日）15：00～17：30予定	光圓寺	マジシャンくぼっち	マジックショー・ピンゴゲームなど	チラシ	青少年および保護者	約50名	3 やや満足	「お寺」に縁遠くなっている子ども、そしてご家庭を対象に「お寺」という場所で、家族の時間を過ごしていただき「お寺」に親しんでもらいたく。
		同朋の会推進部門	2025年10月24日（木）14：30～16：30	大牟田文化会館	島 潤二 (山門西組仁業寺)	前期10月頃 後期5月頃	葉書・チラシ		35名	3 やや満足	・次回で先生の話が一段落つくそなでの、今後どうするか話し合いたい。 ・後期5/20予定
		浄土論註	2024年 9/12・11/13 2025年 1/28・4/25予定 14：30～17：00	願敬寺	大江 憲成 (豊前中津組觀音寺)	年4回	はがき案内	寺族	約20名	3 やや満足	御講師に大江憲成先生をお呼びし、『解説 浄土論註』（蒙輪秀邦）をテキストに御講義をしていただいている。
18	唐津	推進員のつどい	2024年12月1日（日）12：30～19：30	福岡市博物館	各寺住職	九州真宗の源流展観覧/懇親会	はがき	推進員はか希望者	24名	4 満足	推進員養成講座修了者を中心とした研修会。聞法の継続のため年に2回開催。 近年は出席者がたより、欠席者に参加をよびかけるのが難しい。 お寺での研修だけではなく、機会があれば外へ持ち出しの研修会を行ってきた。 本研修会は、企画から推進員の代表者と寺族・門徒話し合いを行い開催してきた。コロナで持ち出しの研修会ができなかたため5年ぶりぐらいため実施した。今は福岡市博物館で「九州真宗の源流展」が開催されため、それにあわせて実施した。伊万里からは、貸切バスで移動し、展覧会を回覧後、久しぶりに懇親会を飲食店で行った。見応えのある展示に、参加者も興味津々だった。懇親会も久しぶりの開催のため楽しい時間だった。
		声明講習会	2024年8月21日（水）19：00～21：00	本勝寺	中島 元信 (三猪組長專寺)	開会、勤行（正信偈）、声明講習、恩徳讃、閉会	はがき	各寺住職、寺族	各回10～16名	4 満足	2024年度開催実績 ①第1回 2024年8月21日 本勝寺 講師 中島 元信 師 ②第2回 2024年11月19日 福成寺 講師 中島 元信 師 ③第3回 2025年2月26日 淨順寺 講師 中島 元信 師 ④第4回 2025年6月4日 德廣寺 講師 中島 元信 師（開催予定） ・正信偈、御文、伽陀、恩徳讃和讃等、勤行の基礎に帰り確認する。また、講師の指摘によって、各自の癖や改善点を認識して、自己研鑽を重ねていく。
		唐津組 女性研修会	2024年10月16日（水）10：00～12：30	法徳寺	中西 無量 (田川組西岸寺)	開式、勤行、法話、休憩、法話、閉式	はがき	寺院、女性門徒の会	32名	3 やや満足	(内容) 「供養」という言葉は「供給資養」の略であり、「ささげ、いただく」という意味になる。私たちは、ついよかれと思って、ささげることばかりに囚われていないか。亡き人を前に、「ありがとう」から改めてみるのはどうか？ 仏事は、阿弥陀仏と諸仏が揃わなければ成り立たない。（レジュメの絵で説明）自分の思いだけでは、仏と向かうことはできない。名（南無阿弥陀仏）を呼ぶことで、净土を思い出させてもらえるのではないか。 (課題・改善点) いつも住職の提案での講師選定だが、坊守や女性門徒の会の方々が、どういう話が聞きたいか、どんな先生の話が聞きたいのかを会議で意見が出せるようになら。そのためには、坊守である私たちがいろいろなところへ出向き、聞法していかなければならぬ感じている。
19	長崎	仏教化事業	随時	福淨寺・西教寺	組内住職（会所）	法話・座談・現地視察・レクリエーション・WEB配信	チラシ	18歳～40代の門徒子弟	毎回30名前後	3 やや満足	児童教化と社年・婦人教化の隙間にある青年・若壯年の男女を対象に、聞法の場を提供し、寺院の敷居を低くするために行うものであるが、スタッフの努力に対しての各寺の参加者の募集努力不足しているように思ふ。今後の継続を支える必要がある。 第4回仏青カデミー（会所：長崎教会）は、2月9日の非核非戦法要にて、大谷保育協会長崎支部との連携により30名程度の参加があり、長田浩昭師の講義により「六ヶ所村の問題を通して人としての在りよう」を学んだ。第8回寺スクール（会所：真光寺）も5月に予定。
		推進員間法会・同朋の会推進講座	随時	各寺	組内住職・推進講座講師	法話・座談	文書	推進員・入門講座受講者	毎回10名～50名程度	3 やや満足	各寺推進員等の連携や、各寺の聞法会への参加奨励に繋がっていくような教化事業とい位置づけ、できるだけ小ブロック開催とし随時に行うようになした。 一部地域は、寺の法要に入門講座講師を招いて、そこへ修了者が参詣するという形をとった。 組として、毎年同朋の会推進講座を、入門講座として組内3ブロックで順次開催することとし、聞法の輪が広がることを期待している。今回第3ブロックが担当し約50名の受講者が5月に後期教習に臨むことになっている。導入として、毎回最初にテーマに沿った寸劇を行い、受講者がリラックスして受講できるようになっている。これを機に第3ブロックでも講座修了者の聞法会を開催する。
		非核非戦学習会	毎月9日 16：00～18：00	長崎教務支所	随時	16：00～18：00（自由討議・輪読・観聴）	LINE	メンバー登録	毎回10名前後	2 やや不満	「非核非戦」について、その言葉の意味するところを共通理解とし、全宗門の課題として提言できよう議論を重ねることを目的とした。 非核非戦の願いにおいて、人間の闘争をどう表現することが、現実社会への実効ある批判になるのか、様々な社会問題の根にあるものを露わにすることが必要である。 今年8月に原爆80年を迎えるが、定例法要に統いての学習会である。参加者の輪がなかなか広がらないけれども、久留米エリアからも参加する者がある。 核攻撃をちらつかせるロシアや核兵器禁止条約に参加しない核兵器保有国と、原発推進を打ち出し、また禁止条約に後ろ向きな日本政府が、現時点での放射能の脅威を真剣に受け止めいくことを願う真宗門徒としての「しるし」を明らかにしていかねばならない。
20	熊本中	熊本中組 報恩講	2025年2月14日（金）13：00～16：30	願正寺	海 法龍 (東京教区長願寺)	法要（伽陀【笠下高座】焼香・表白・正信偈【真四句目下】）・法話	ポスター・チラシ配布ほか	組内全寺住職・寺族・門徒及び九州教区内全寺院・一般	50名	2 やや不満	組内各団体の教化の集大成として開催。前年度から入念な計画を講じ周知に努めたが、組執行部主導で行なってきたが、各団体との温度差等が生じ、参拝はあったもののお客さんの感覚での出席が目立った。 報恩講執行に際し、組費を1ヵ月3千円ずつアップした。これは運営費として微収したつもりでいたが、当初受付をお願いした坊守の方に「先に3千円微収されたのだから、当日の慰志は包まなくて良い」と受付で慰志を戻されたらしく、結果大赤字となる。一度全体で慰志の意味を確認せねばならない。
		熊本地震追弔法要	2025年4月14日（月）14：00～16：00	東本願寺熊本会館	篠原 敬 (洲洲焼遊戲兼代表) ほか	勤行（参拝者全員焼香）・法話・感謝	組内郵送	住職・寺族・門徒・一般	50名	3 やや満足	熊本会館の主たる事業ではあるが、組としては、一番被害に遭ったエリアを有する組として追弔していく場を設けることを目的とする。 世間一般で言うところの「追悼」するということ、私たちの言うところの「追弔」するという意味合いで今後も丁寧に伝えながら、継続して行きたい。 なお、今年度は熊本県仏教協会より副会長（及び事務長）、熊本市仏教連合会の臨席をいただき、災害に対する取り組みの紹介をいただいた。
		慈光会学習会	2024年9月7日（土）、11月4日（月）13：30～16：30及び2025年4月20日（日）～21日（月）の一泊研修	東本願寺熊本会館 熊本中組善通寺及び佐久の湯	青木 玲 (九州大谷短期大学准教授)	開会・勤行・挨拶・法話・質疑応答・閉会・（親睦会）	郵送・LINE	同朋の会推進員を中心とした組内・住職・寺族・門徒	30名	4 満足	新たに推進員に加わった方は未だお仕事をお持ちの方が多いので、開催曜日は土・日曜日になるよう配慮しているが・・・、そうすると、寺族の出席が少なくなる。 今年度、第3回目は久方ぶりに（アターコロナ初）一泊研修を行った。これは、対象推進員の中から「慰志を据えて学習し、また、皆で親睦を深めたい」との要望があったことから一泊学習会としたことであるが、普段参加が無い方が参加された一方、毎回参加されておられる方が「遠方で行けない」「（家庭の事情で）泊まりは無理」等を理由とし出席頂けなかったり、両方面に振れた内容となった。
		真宗生活講座	①2024年10月18日（金） ②2025年3月22日（土） ③2025年6月予定	壽寶寺 九州大谷短期大学	青木 玲 (九州大谷短期大学准教授)	①13：00受付/13：30開式/13：40講義/15：30質疑・閉会 ②18：00開場/ミュージカルNINGEN ③未定	案内状送付	門徒・役職者	20～30名		生活と仏法は別ではないことを知り、生活（喜怒哀楽）と仏法の間に自分を置き、発見していく。

21	熊本北	「是旃陀羅問題」に学ぶ	2025年3月27日（木）13：30～16：00	往相寺	福田 了樹 (善證寺)	13：30開式・勤行・挨拶/14：00講義・質疑/16：00閉式	紙案内	住職、坊守、門徒会その他	16名	3 やや満足	「観経」を仏事の勤行として用いていない寺院も多く、まして門徒にとっては観経自体「なに」という中で「旃陀羅」ということばは、非常に取っつきにくい。そういう中で、出版されている「テキスト」をも親しみ難いものである。 「問題」を確実に把握するにつても、かなりの資料の読み込みが必要と思われる。組内の学習のひろがりも視野に入れて、教区のスタッフでもある福田氏から「報告」という意味合いを前面に出して計画した。
		女性聞法会	2025年4月5日（土）	光行寺	福田 了樹 (善證寺)	13：30受付/14：00開式・真宗宗歌・勤行/14：30法話・花御堂入場・お菓子での華東作り・真宗カルタなどのゲーム/16：00恩徳讃・終了		子ども、保護者、その他	52名		事前の企画会は、学習会形式を取り入れた。
22	熊本西	夏の集い 東本願寺熊本会館に泊まろう	2024年8月25日（日）16：00～26日（月）16：00	東本願寺熊本会館 (熊本教務支所)	子どもの会 (組内寺族スタッフ)	25日16：00開会 ピンゴーご飯・入浴一肝だめしー花火・読み聞かせー就寝 26日6：30起床 ラジオ体操ー朝ごはん一手打ちうどん作り（昼食）一木工教室ー閉会	チラシ・SNS	小学生 (中高生はスタッフとして)	合計31名 小学生13、中学生6、スタッフ12	3 やや満足	こども達とご本尊を中心とした場で一泊過ごした。日程中おつとめ・法話の時間を持ち、静かに聞くことを大事にということをスタッフで共有し取り組んだ。木工教室指導は光榮寺大津山量氏。 また、こどもの会としては、2025年4月27日（日）に浄照寺において「こども報恩講」を開催した。13：00受付、13：30開会、13：45お華東作り、16：00勤行、17：00閉会。こども達とお華東作り、おつとめ（法話・紙芝居）を聞く、合同にお楽しみの時間を設けた。参加者23名（参加者12/スタッフ7/中高生スタッフ）
		育成員研修「儀式・声明講習会」	2025年2月6日（木）14：00～17：00	長寿寺	坂梨 智海 (熊本東組淨行寺)	声明講習ー休憩ー質疑	ハガキ・SNS	住職、坊守、寺族	10名		育成員研修では年2回の儀式声明の研修の場を持っていたが、今年度は推進講座準備年度ということで、回数を減らして実施した。 また、年に4回の研修会、これはテキストを用いた輪読を座談を中心とした学習会だが、今年度は『「あなたへ」～安穏なる世をめざして～』を教材に学びを進めている。教反駐在教導、解放運動推進協議会から参加いただき、提言・意見等交えながら学んでいる。延べ参加者数32名。
		熊本西組解放運動推進協議会学習会	2025年5月15日（木）15：00～17：00	天草市民センター第3会議室	福井 一基 (新聞記者)	講義ー休憩ー質疑	郵送・SNS	住職、坊守、寺族、門徒			戦後80年ということで、地理的に長崎と近くにある天草で原爆の被害を受けた方々への取材を続けておられる福井氏に話を聞く。私たちが受け継ぐべき戦争の記憶、被爆者の方々への差別の問題などをお話ししてもらっていることは何かを学びたい。※記入時点では未実施。
23	熊本南	解放推進学習会	2025年6月予定	八代地区	未定	13：00～15：00	ハガキ	僧侶一般	30名予定		装束及び出仕、御文、道具をそろえる事。
		声明講習	2025年2月13日（木）13：00～16：00	清傳寺	竹下 秀覚 (正念寺)	13：00～16：00	ハガキ	住職、若院	25名	3 やや満足	童話を手掛かりとした青少年教化について学び、組や寺での活動へつながることを願いとして開催した。
24	熊本東	青少年教化スタッフ研修会「童話の世界をたずねて」	2025年4月9日（水）14：00～20：00	大分県玖珠町立わらべの館	近藤 章 (長崎組西心寺)	14：00開会/14：20～15：20久留島武彦記念館見学/15：30～17：00おはなし/17：30懇親会	郵送	組青少年部門委員ならびに青少年教化に携わる方	8人	4 満足	久留島武彦記念館では、キム・ソンヨン館長に案内、お話をいただき、また長年青少年教化に取り組んでこられた近藤先生のお話を「童話の里」である玖珠町でお聞きした貴重な現地学習の場となり、参加者もいろいろと刺激を受けたように感じた。
		女性門徒の会ブロック別聞法会	①2024年10月4日（金） ②2024年10月11日（金） ③2024年10月15日（火） 13：20～15：10	①玄照寺 ②玄徳寺 ③法輪寺	佐伯 和則 (了蓮寺)	13：20開会/14：00～15：00法話/15：00～閉会	各寺へ郵送	女性門徒	①24人 ②14人 ③18人	4 満足	広域にわたる組内を中部（6ヶ寺）、北部（4ヶ寺）、南部（8ヶ寺）の3ブロックに分け、より多くの女性門徒の方々への法縁をつくすように配慮し、開催している。 また、昨年度より講師を組内中堅若手の方々に担っていただいている。
25	鹿児島	鹿児島組みんなの集い	2025年3/11（火）・4/24（木）・5/22（木）・6/26（木） 15：00～17：30	鹿児島別院	鹿児島組准堂衆・別院列座			鹿児島組僧侶・他どなたでも			当初の計画では、葬儀社の方をお招きし、現代の葬儀事情についてのお話を伺うとともに、地域ごとの特色や実情について情報交換を行い、葬儀儀式を通じた学びを深めることを目的としていました。 しかし、慶讃法要が近づく中で、別院との共創・連携の重要性を考慮し、計画を変更。葬儀に関する学びから、情報交換や声明儀式を中心とした実践的な内容へとシフトしました。これにより、若手と中堅の世代が交わる貴重な機会となり、一定の成果が得られたと感じています。
		同朋総会	2025年6月予定	鹿児島別院大谷会館	講師は立てずに座談会形式	14：30開会式/14：35次年度へ向けて情報交換/16：00閉会式	LINE	正副組長・各諸団体代表者・教化委員会委員・鹿児島別院	約30名		目的：慶讃法要に向けて、法要・法話・多くの参詣者確保・その他諸々を話し合っていく。 工夫した点：案内方法をLINE等で告知・参加者出欠・参加形態も広域のためzoomを使用。 留意点：鹿児島別院・鹿児島組・各諸団体が一丸となって慶讃法要を厳修していくよう留意する。
		育成員研修会	2025年6月開催	鹿児島別院大谷会館	椋田 隆知 (京都教区光徳寺)	14：30開会式/14：35講演/16：00質疑応答/17：00閉会式	鹿児島組内各寺 郵便	どなたでも	約50名		目的：慶讃法要に向けて「東本願寺の衣体」と題して講演いただいく。 工夫した点：昨年度より近松誓師、本年度は椋田隆知師と情報豊かな京都よりお越しにいただき、宗門と近くに感じて、親鸞聖人のご尽力に学ぶ。 留意点：zoom等で参加者を増やしたいが、椋田隆知師は宗議会議員・京都市会議員と公人であるため、アーカイブ等が残されると支障をきたすので、会場のみ参加とする。
26	宮崎	声明講習	2024年10月16日（水）	英空寺	友清 覚心（鹿児島組眞照寺）		案内文など	寺族	10名		報恩講出仕作法を中心にご指導いただきました。
		声明講習	2025年6月予定	永覚寺	森田 孝作（鹿児島組同朋寺）		案内文など	寺族		報恩講出仕作法を中心にご指導いただきました。	

※各組より提出いただいたものをベースに作成しています。